

当院では下記のような研究を行なっております。本研究実施に際して、お問い合わせや、患者さんもしくは患者さんの代理人の方により、臨床研究への参加についてご了承頂けない場合は、研究対象としないので、以下連絡先までお申し出下さい。

なお、この研究は 2026 年 12 月 31 日まで行う予定です。

【研究題目】 癌患者における血中のマイクロ RNA メチル化と放射線治療効果の解析

【研究責任者】 大阪大学大学院医学系研究科 助教 玉利 慶介

【研究の目的】

細胞内に存在する核酸のひとつであるマイクロ RNA は、遺伝子発現調節に重要な役割をしており、癌を含めた多くの疾患の発症と進行に関わっている。このマイクロ RNA は細胞外の血液にも安定に存在しており、バイオマーカーとして期待されている。研究分担者の石井秀始特任教授のグループでは、血液に含まれるマイクロ RNA のメチル化率を測定することにより、既存の腫瘍マーカーより高感度、高精度に癌を検出可能な技術を開発した。本研究では、放射線治療患者の血液中のマイクロ RNA のメチル化を測定することで、癌の放射線治療後の予後予測が可能かどうか検証することを目的とする。

【研究の対象となる方】

2019 年 1 月以降、「がん患者の臨床検体を用いた治療効果および副作用に関するゲノムプロファイリングに関する研究」もしくは「血中遊離核酸を用いたがんの治療効果に関するゲノムプロファイリング研究」に登録された方のうち、残りの血漿検体が利用できる方が対象です。

【研究に利用する項目】

血中のマイクロ RNA メチル化の測定データ、診療記録と血液検査、病理検査、画像検査結果、放射線治療の線量のデータを利用します。

【個人情報等の取り扱い】

研究対象者のデータや検体から氏名等の特定の個人を識別することができることとなる記述等を削り、代わりに新しく符号又は番号をつけて匿名化を行い、研究対象者とこの符号（番号）を結びつける対応表を当院及び大阪大学で作成し、個人情報管理者は外部の漏れないように厳重に保管します。

【試料の提供先】

大阪大学産業科学研究所(谷口正輝教授)にて血液中のマイクロ RNA メチル化率を測定します。医学系研究科から産業科学研究所へ提供するのは、試料と試料番号のみになります。

【利益相反】

この研究で用いる血液中に含まれるマイクロ RNA のメチル化率を測定することにより、既存の腫瘍マーカーより高感度、高精度に癌を検出可能な技術の発明者が、本研究に参画しています。

本研究の結果によっては、発明者である研究者に将来利益が生じる可能性があります。この研究における利益相反の状況については、臨床研究利益相反審査委員会による審査を受け、承認を得ています。

【お問い合わせ先】

大阪府吹田市山田丘 2-2(D10)

大阪大学大学院医学系研究科 放射線治療学教室

玉利慶介 電話 06-6879-3482